

# R7年度 祝 卒園記念

ようちえん  
ながつた幼稚園

さっし  
とんぐい冊子

ねが  
とんぐいに願いを込めて

ようちえん えんちょう かせはらいつこ  
ながつた幼稚園 園長 笠原逸子

ながつた幼稚園の山には硬い殻を持つ実の総称、「どんぐり」がたくさん成ります。どんぐりの仲間は日本で二十種類ほどありますが、いずれもブナ科の樹木で、育つと背が高くなり林や森をつくります。私たち人間が生きている基盤である緑(自然)を身近に感じられる恵みです。この恵みに思いを寄せることで、これからの生活環境や地球環境、そして自分の成長をより大切に感じてもらうことを期待し、この鉢植えを卒園の記念とします。ご家族でどんぐりの成長を楽しみながら、多くの命を育む自然環境を大事に守ってください。(ながつた幼稚園の山は環境省自然共生サイトに認定されています)

いま  
今のどんぐりの様子を描こう

しょうがく ねんせい とき  
小学6年生の時のどんぐりの様子を描こう

みらい  
～未来予想図～

うえたどんぐりは、 しらかし です。

みんなのお山が朝日新聞  
に掲載されたよ。



ここでたくさんのどんぐりを  
拾ったね！



こんなにも緑が豊かなお山だ  
よ。いつまでも大事にしたいね！



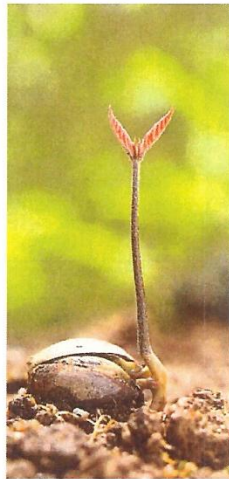
池ではカエルの卵を見たり、  
トンボが飛んでいるのを見たね！  
鳥もたくさん飛んでいたね！

〈みんなが遊んだどんぐりのお山〉

木は地盤を支え、多くの生を育み、酸素を作ります。落ち葉は雨を浄化し、生きものに食べられて土を作り、すべての生きものに欠かせない水を作り出します。そんなお山で遊び学んだ君たちは、これからの人生において緑の大切さを忘れないでしよう。

# ようちえん み いちらん ながった幼稚園で見られるどんぐり一覧

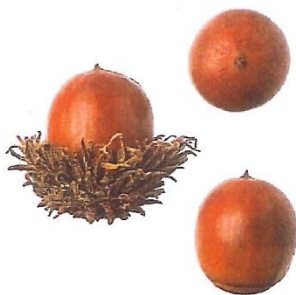
## 【まてばしい】



## 【しらかし】



## 【くぬぎ】



## 【こなら】



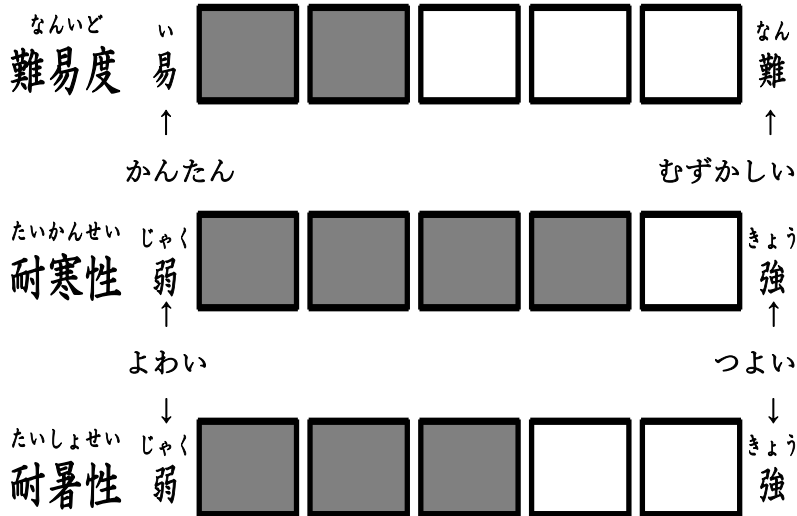
ようちえん こなら かし の な が き く い む し  
**※幼稚園のコナラは、カシノナガキクイムシに  
 食べられて枯れてしまいました。**

う ねんせい じょうりょくじゅ しらかし らくようじゅ こなら ねんせい らくようじゅ くぬぎ  
 植えたどんぐりは、1年成の常緑樹(シラカシ)、落葉樹(コナラ)、2年成の落葉樹(クヌギ・  
 まてばしい)の4種類です。成長すると1年成は毎年、2年成は2年に1回実をつけます。  
 にわ じょう すいじょう おお そだ ほか しょくぶつ かけ ちか すいどうかん  
 庭への地植えは推奨しません。大きく育つため、他の植物の陰になったり、地下の水道管や  
 たてもん えいぎょう あた うえきばち そだ じょう くら せいじょう おさ  
 建物に影響を与えます。植木鉢で育てることで、地植えと比べて成長を抑えることができます。  
 また、場所も自由に移動させながら長く楽しむことも出来ます。地植えをされる際は、よく場所  
 を選定したうえで毎年欠かさずに剪定を行い管理してください。**幼稚園のお山に植樹すること  
 も出来ます。**

# ～まてばしい～



撮影：2021年3月



## 《特徴》

- ・主な開花期は6月。
- ・葉は全縁で、先が突き出ている。長さは10cm～20cmくらい。
- ・常緑樹なので一年中葉をつけている。春先に新芽を出す。

豆知識：マテバシイのどんぐりは、灰汁が少なく食べることができます。  
みずが浮かべて沈んだものを炒って、殻が割れたら食べ頃です。

## 《場所》

日当たり、風通しの良い場所が最適。  
土は腐葉土などを混ぜ、湿り気のある状態にするのが良い。

## 《手入れ》

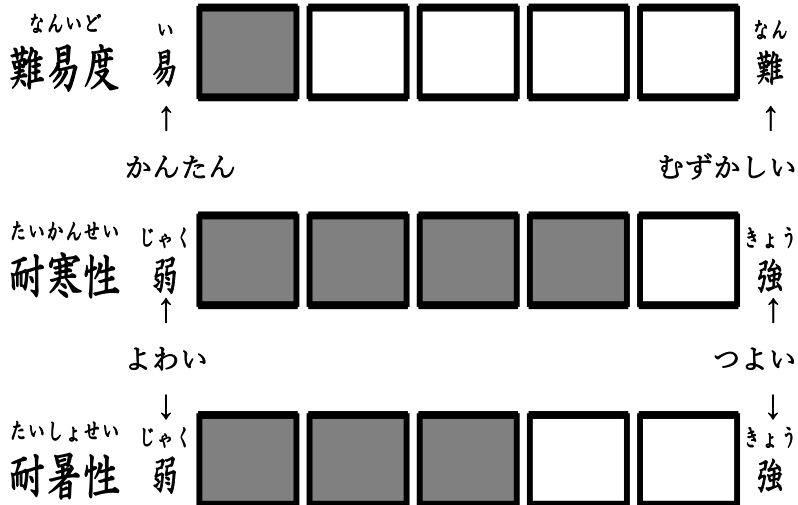
- ・剪定は10月～11月。風通しと日当たりが良くなるように間引く。

## 《ポイント》

- ・間引きすぎると樹形が崩れるので剪定しすぎない。
- ・日当たりが良く、湿潤な環境で育てる。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花						<input checked="" type="checkbox"/>						
植え					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
剪定										<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

# ～しらかし～



撮影：2019年2月

## とくちょう 《特徴》

まめちしき しらかし きからでる じゆえき には、かぶとむし やくわがた などの こうちゅう があつ まります。なつ になったら さが してみよう！

●主な開花期は4月～5月。

●葉っぱの長さは10cm～25cmくらい。アラカシより細い。

●常緑樹。一年中葉をつけている。4月～5月頃に新芽を出します。

## ぼしょ 《場所》

ひあた のよい 場所が最適。多少の日陰には耐えられるが出来れば避ける。

わかぎ はみず はけのよい 砂質土壤が望ましい。

## てい 《手入れ》

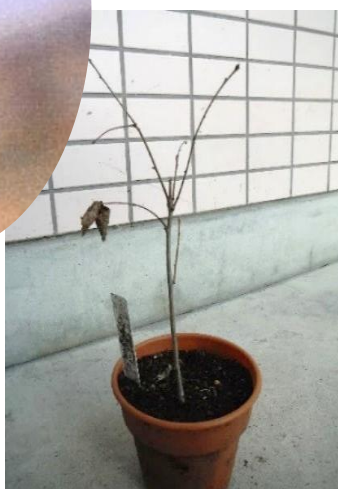
ほほ放任で自然樹形を楽しむことができる。

## 《ポイント》

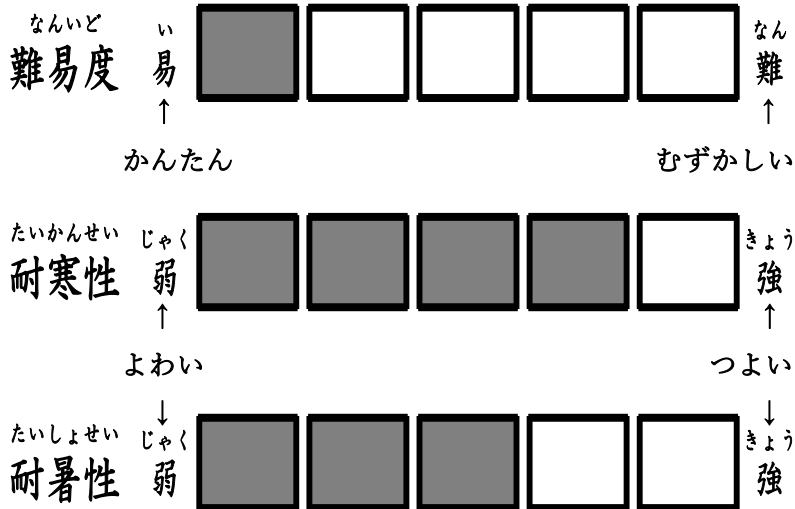
植え付けの適期は5月。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花												
植え												
剪定												

# ～こなら～



撮影：2019年2月



## とくちょう 《特徴》

- 主な開花期は4月～5月。**
- 落葉樹。紅葉し冬に葉を落とす。**
- 葉先は急に尖っている。縁は粗い/コギリ状（鋸歯）になっている。**

## ほしょ 《場所》

日当りで管理をする。半日陰程度なら問題ない。

## てい 《手入れ》

2月前後に剪定するが、邪魔な枝を捌く程度で良い。

## 《ポイント》

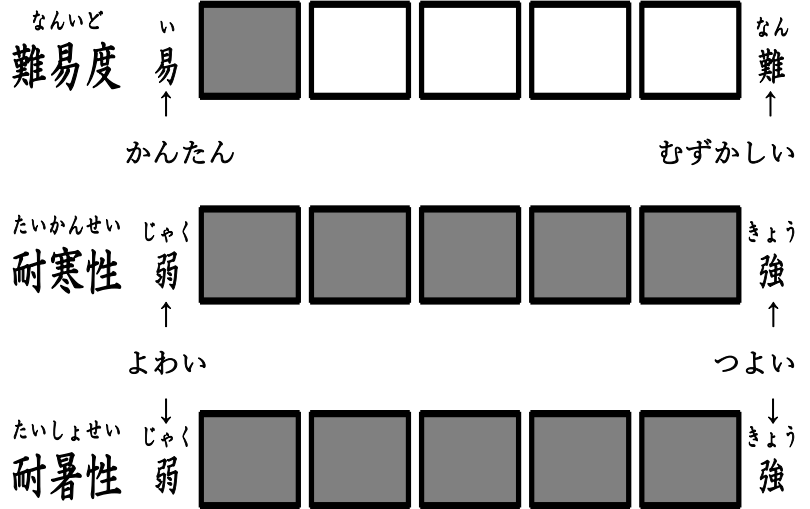
根付いたら水やりは必要ない。降雨で十分。  
土質を選ばず、根を深く張るのでスペースは広くとる。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>							
植え	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
剪定	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>									



撮影：2019年2月

# ～くぬぎ～



## とくちょう 《特徴》

- 幹は真っ直ぐ伸びて枝を沢山出す。成長がはやい。
- どんぐりは丸く、ほかに比べ大きい。
- 落葉樹なので冬に葉を落とす。

## ばしよ 《場所》

日当たりと水はけの良い場所であれば土質を選ばない。

## てい 《手入れ》

枝が良く伸びるため、邪魔にならないように選定をする。適期は冬。

## 《ポイント》

剪定するときは枝の付け根で切る。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花												
植え												
剪定												

# どんぐりが枯れてしまったら・・・ Let's plant again!!

①

ながつた幼稚園(生きもの観察会など)のお山でどんぐりを拾う。



おもいでに残った  
どんぐりにしよう!

②

取ってきたどんぐりの種類を図鑑で調べる。



③

水が入った容器にどんぐりを浮かべ、洗んだどんぐりを使う(3個程度用意する)。



・実がつまっていなくて種が浮く。これは発芽しない  
・浮いたどんぐりはお山へ還す。いずれ朽ちて森の栄養になる。

④

植木鉢に赤玉土をシャベル1杯分  
その上に土(割合は黒土6:腐葉土4)を  
シャベル1杯分入れる。



⑤

どんぐり3個を横向きにして植木鉢に入れる。  
ギュッと中に入れすぎないように注意する。



⑥

腐葉土をシャベル1杯分入れる。鉢を持ってトントンと地面に打ち、土を落ち着かせる。



⑦

水をあげたら出来上がり。

⑧

土が乾かない程度に様子を見て水をあげてください。落ち葉もかけてね。

# とんぐい<sup>しょくさいきろくらん</sup>植栽記録欄

## ～<sup>ひ</sup>日々<sup>び</sup>の<sup>きろく</sup>記録<sup>き</sup>で<sup>こと</sup>気が<sup>こと</sup>ついた<sup>こと</sup>事～

例：<sup>れい</sup> 3<sup>がつ</sup>月<sup>にち</sup> 1<sup>あた</sup>日<sup>め</sup>：新<sup>め</sup>しい<sup>で</sup>芽<sup>で</sup>が<sup>で</sup>出<sup>で</sup>て<sup>で</sup>き<sup>で</sup>た<sup>で</sup>！

4<sup>がつ</sup>月<sup>にち</sup> 10<sup>つち</sup>日<sup>かわ</sup>：土<sup>かわ</sup>が<sup>みず</sup>乾<sup>みず</sup>いて<sup>みず</sup>いた<sup>みず</sup>ので、<sup>みず</sup>た<sup>みず</sup>っ<sup>みず</sup>ぷ<sup>みず</sup>いと<sup>みず</sup>水<sup>みず</sup>を<sup>みず</sup>あ<sup>みず</sup>げ<sup>みず</sup>た<sup>みず</sup>。

### 《暑さで枯れない為に》

近年、異常気象に見舞われることが多くあります。特に夏は40℃に迫る暑さが普通になりつつあります。この暑さは人間以外の生きものにとっても耐え難いものです。特に植物は、動くことがほとんど出来ないため、日陰などの涼しい場所に移動することが出来ません。鉢植えなどで育てている小さな植物は、日陰に移動させてあげましょう。夏場に枯らさないように育てることはとても難しいですが、頑張って育ててみましょう。

【製作】

笠原 逸子（1級 こども環境管理士 / 1級 ビオトープ管理士）

星野谷 隆（2級 こども環境管理士）



【監修】

公益財団法人日本生態系協会

【参考文献】

どんぐりの図鑑（トンボ出版） / しぜん10 「どんぐり」（キンダーブック）

山溪ハンディ図鑑14（山と溪谷社）



【写真協力】

どんぐりの図鑑 著者 伊藤 ふくお氏

【指導協力】

理学博士（植物生態学） 多田 多恵子氏

【困った時は…】

ながつた幼稚園ホームページの『どんぐりプロジェクト』へ お山へ植樹もできます